

【小論文】

問題 1

①・②の文章を読んで、それぞれ何についての説明なのかを下の囲み欄から選択し、その記号を解答欄に記入しなさい。解答は解答用紙に書きなさい。（各 15 点×2=30 点）

①病状が重篤化した場合や終末期など、意思決定できない状態に陥ることを想定し、あらかじめ医療についての希望を意思表示する事前指示書をいう。医療内容や延命治療、臓器提供の希望を書面に記す living will や DNAR も含まれる。

②事前指示書のようにある時点で書面を作成するのではなく、治療の初期からあるいはその前から、人生の最終段階の医療・ケアについて、本人が家族や医療チームと事前に繰り返し話し合い考えていくプロセス。

- a. アドバンス・ディレクティブ (Advance Directive)
 - b. アドバンス・ケア・プランニング (Advance Care Planning)

問題 2

以下の事例を読み、あなたが K 看護師であれば、具体的にどのような支援が必要だと考えるか。この状況における支援の必要性の判断と、具体的な支援内容とその根拠を、800 字以内で書きなさい。解答は解答用紙に書きなさい。（70 点）

【事例】

患者 S 氏、50 歳、男性。会社員。妻（48 歳）と 20 代未婚の 2 人の子どもがいる。咳が続くので、かかりつけ医に受診をしたら、がんの疑いがあるので大きな病院に行くよう勧められ、翌週、大学病院の呼吸器外科に受診した。

受診の結果、肺がんのステージⅣと診断され、すぐに入院し、手術と化学療法が開始となった。しかし、予後については「非常に難しく、余命半年～1 年程度」との告知があった。化学療法に期待を込めたが、4 度目の入院後は退院が難しくなった。やがて医師から、BSC（Best Supportive Care：積極的治療を行わずに症状緩和の治療のみを行うこと）に移行する目的での転院の話があった。S 氏は、「つい最近まで元気で普通の暮らしをしていたのに、咳が出るからクリニックに行った途端、人生の期限が切られてしまった。転院してしまうとこのままかもしれない。」と K 看護師に話した。

問題 1（各 15 点×2=30 点）

- ① a（アドバンス・ディレクティブ）
- ② b（アドバンス・ケア・プランニング）